

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	
科 目 名	障害をもち生活する人を支える看護		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	4 時間(単位)
対 象 学 年	2学年		学期及び曜時間		教室名	
担 当 教 員	岸田 未来	実務経験と その関連資格	2009年国立大阪病院に入職 2016年4月より刀根山病院感染管理看護師(専従)に着任 2016年6月感染管理認定看護師取得			
《授業科目における学習内容》						
慢性期にある成人の疾患と治療によって生じる機能および健康問題の特性を理解し、病とともにその人らしく生きる過程を支えるための看護についての基礎知識を学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
終講試験と授業態度(100%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
系統別看護学講座専門分野Ⅱ:成人看護学①アレルギー・膠原病感染症(医学書院) 毎回、教員作成の講義資料配布						
《授業外における学習方法》						
指定した教科書を事前に読んでおくこと 授業終了時に示す課題を実施しておくこと 前回授業内容について復習をしておくこと						
《履修に当たっての留意点》						
この授業は生体防御機能障害をもつ人が、疾病と共存し、その人らしい生活を営めるよう援助する看護の基礎的能力を養うことが目的である。疾患をもつ成人期にある人の健康の回復を促進するための看護を学ぶために、解剖生理・病態生理など既習の学習を行い、授業にしっかり臨んで欲しいです。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を 通じての 到達目標	感染症のある対象の病態生理・検査・治療について理解できる		教科書 講義資料	授業に関連する解剖生理・病態生理の復習 教科書を読んで来ること	
	各コマに おける 授業予定	1)看護を取り巻く感染症の問題 2)感染が成立する条件 3)SIRSと敗血症 4)代表的な症状 5)感染症の診断の原則と検査・診断・治療の流れ 6)感染症治療の原則 7)主な疾患(上気道感染,肝胆道系感染症,HIV感染症と日和見感染,多剤耐性菌感染症等)				
第2回	授業を 通じての 到達目標	感染症のある対象の看護について理解できる		教科書 講義資料	授業に関連する解剖生理・病態生理の復習 教科書を読んで来ること	
	各コマに おける 授業予定	1)スタンダードプリコーションについての復習 2)感染経路別予防策と隔離方法 3)クリーンルーム陰圧・陽圧の違い 4)主な疾患の看護				
第3回	授業を 通じての 到達目標					
	各コマに おける 授業予定					
第4回	授業を 通じての 到達目標					
	各コマに おける 授業予定					
第5回	授業を 通じての 到達目標					
	各コマに おける 授業予定					